

平成16年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査
林家の森林施業に関する意向調査結果（九州）
 —— 3ha以上20ha未満の山林保有林業者対象 ——

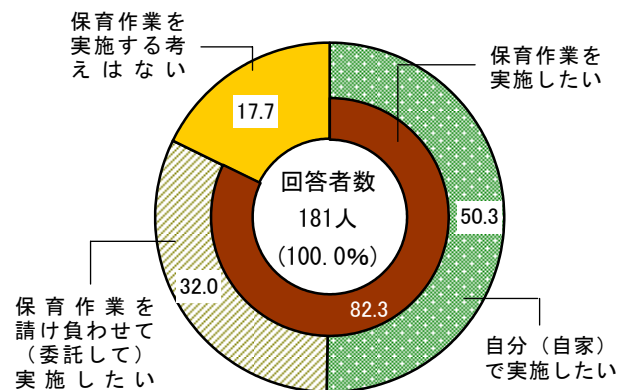
この調査は、保有山林面積が3ha以上20ha未満で、かつ人工林を保有している林業者3,000名に対して実施し、回答を得た全国の結果（1,839名）のうち、九州の結果（215名）を集計・取りまとめたものです。

【調査結果の概要】

保育作業実施の意向が8割

保育期にある山林を保有している林業者の今後5年間における保育作業（間伐を除く）の実施に関する意向は、「自分（自家）で実施したい」が5割であり、「保育作業を請け負わせて（委託して）実施したい」を合わせると、8割は保育作業を実施したいと考えています。

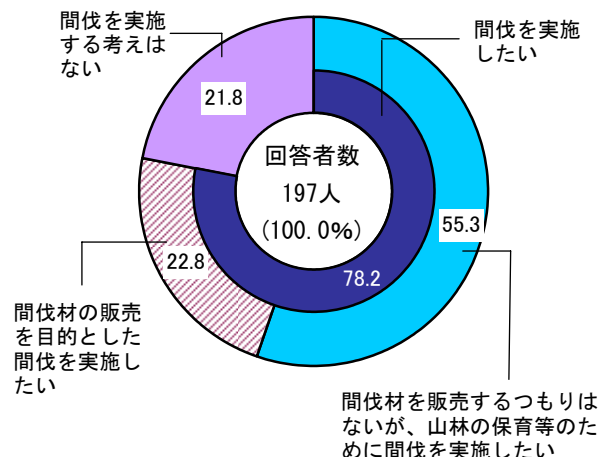
図1 保育作業の実施に関する意向（九州）
【保育期にある保有山林】



間伐実施の意向が8割

間伐期にある山林を保有している林業者の今後5年間における間伐の実施に関する意向は、「間伐材の販売するつもりはないが、山林の保育等のために間伐を実施したい」が6割であり、「間伐材の販売を目的とした間伐を実施したい」を合わせると、8割は間伐を実施したいと考えています。

図2 間伐の実施に関する意向（九州）
【間伐期にある保有山林】

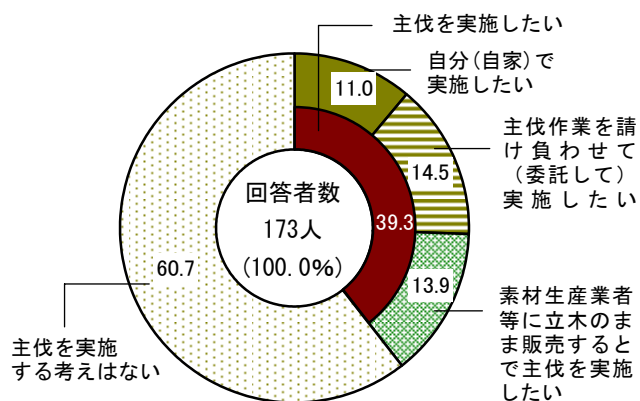


6割は主伐を実施する考えはない

伐期にある山林を保有している林業者の今後5年間における主伐の実施に関する意向は、「主伐を実施する考えはない」が6割となっています。

一方、何らかの形で主伐を実施したいと考えている林業者は4割となっています。

図3 主伐の実施に関する意向（九州）
【伐期にある保有山林】

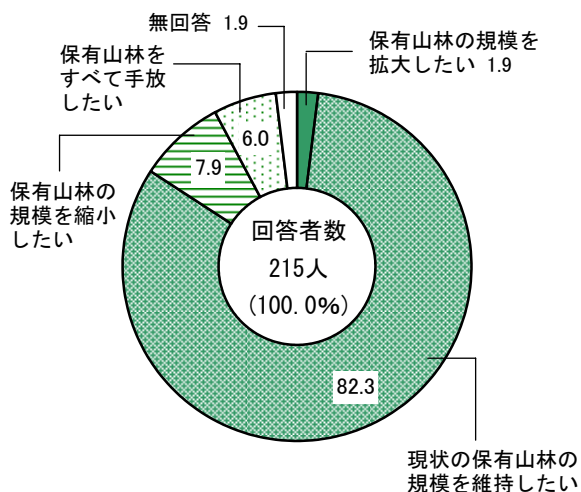


保有山林規模は「現状維持」が8割

今後の保有山林の規模に関する意向は、「現状の保有山林の規模を維持したい」が8割を占めています。

なお、「保有山林の規模を縮小したい」及び「保有山林をすべて手放したい」を合わせると1割強となっています。

図4 保有山林の規模に関する意向（九州）



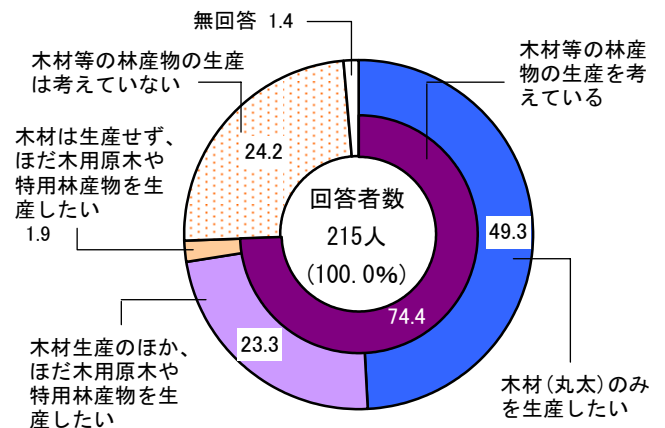
【 解 説 】

1 木材等林産物の生産に関する意向

(1) 保有山林における今後の木材等林産物の生産に関する意向は、「木材(丸太)のみを生産したい」が49.3%、「木材生産のほか、ほだ木用原木や天然きのこ類・たけのこ・木炭・竹炭等の特用林産物を生産したい」が23.3%を占めるなど、7割の林業者が木材等の林産物の生産を考えています。

一方、「木材等の林産物の生産は考えていない」は24.2%となっています。

図5-1 木材等林産物の生産に関する意向(九州)



(2) これを保有山林面積規模別にみると、木材等の林産物の生産を考えている林業者は、「3～5ha」が72.3%、「5～10ha」が76.0%、「10～20ha」が76.9%となっており、規模が大きくなるほど高い割合となっています。

図5-2 保有山林面積規模別割合(九州)

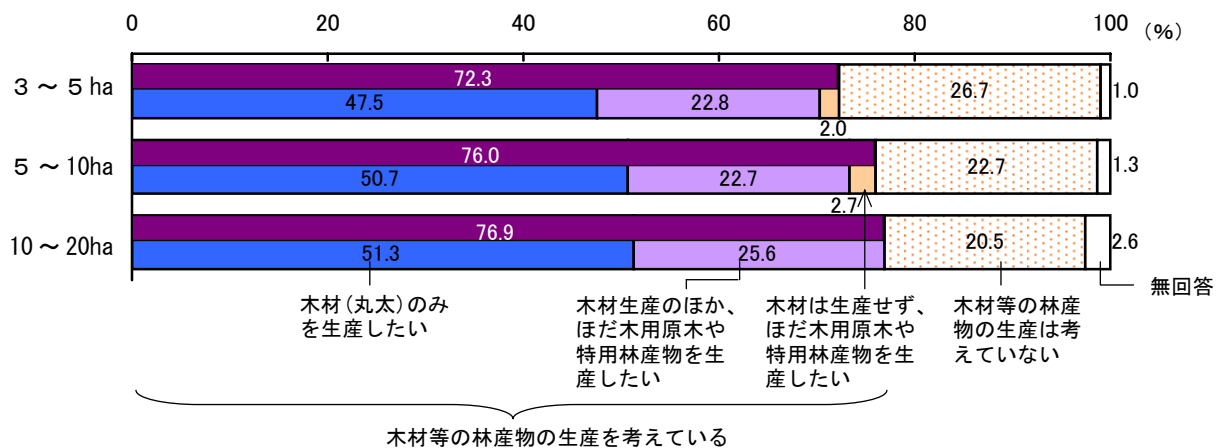


表1 木材等林産物の生産に関する意向

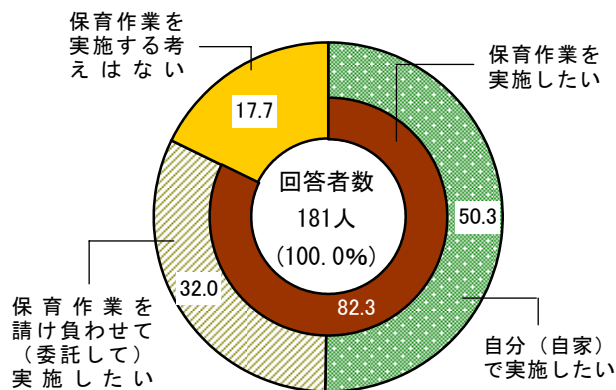
区 分	回答者数	計	木材等の林産物の生産を考えている				無 回 答	
			小計	木材(丸太)のみを生産したい	木材生産のほか、ほだ木用原木や特用林産物を生産したい	木材は生産せず、ほだ木用原木や特用林産物を生産したい		
九 州	215	100.0	74.4	49.3	23.3	1.9	24.2	1.4
保有山林面積規模別								
3～5ha	101	100.0	72.3	47.5	22.8	2.0	26.7	1.0
5～10ha	75	100.0	76.0	50.7	22.7	2.7	22.7	1.3
10～20ha	39	100.0	76.9	51.3	25.6	-	20.5	2.6
全 国	1 839	100.0	71.6	47.9	20.7	2.9	27.7	0.8

2 保育作業(間伐を除く)に関する意向

(1) 保育期にある山林を保有している林業者の今後5年間における保育作業(間伐を除く)の実施に関する意向は、「自分(自家)で実施したい」が50.3%、「保育作業を請け負わせて(委託して)実施したい」が32.0%となっており、8割が保育作業を実施したいと考えている。

一方、「保育作業を実施する考えはない」は17.7%となっている。

図6-1 保育作業の実施に関する意向(九州)
【保育期にある保有山林】



(2) これを保有山林面積規模別にみると、保育作業を実施したいと考えている林業者は、「3~5ha」が79.1%、「5~10ha」が83.1%、「10~20ha」が90.0%となっており、規模が大きくなるほど高い割合となっています。

図6-2 保有山林面積規模別割合(九州)

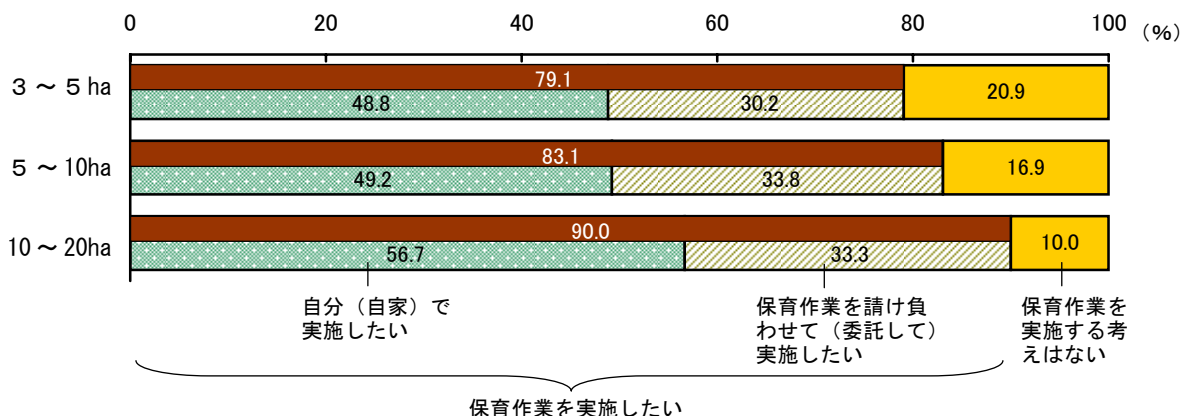


表2 保育作業(間伐を除く)に関する意向

区分	回答者数	計	保育期にある保有山林がある	保育作業を実施したい				保育期にある山林はない	無回答
				小計	自分(自家)で実施したい	保育作業を請け負わせて(委託して)実施したい	保育作業を実施する考えはない		
九州	215	100.0	84.2	(82.3)	(50.3)	(32.0)	(17.7)	15.8	-
保有山林面積規模別									
3 ~ 5 ha	101	100.0	85.1	(79.1)	(48.8)	(30.2)	(20.9)	14.9	-
5 ~ 10 ha	75	100.0	86.7	(83.1)	(49.2)	(33.8)	(16.9)	13.3	-
10 ~ 20 ha	39	100.0	76.9	(90.0)	(56.7)	(33.3)	(10.0)	23.1	-
全国	1 839	100.0	81.0	(78.6)	(49.3)	(29.3)	(21.4)	18.7	0.3

注: () 書きの値は、「保育期にある保有山林がある」を100とした場合の割合です。

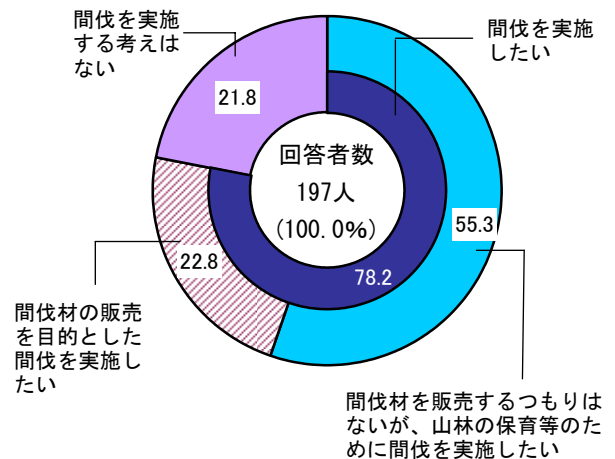
3 間伐作業に関する意向

(1) 間伐の実施（間伐期にある保有山林）

ア 間伐期にある山林を保有している林業者の今後5年間における間伐の実施に関する意向は、「間伐材を販売するつもりはないが、山林の保育等のために間伐を実施したい」が55.3%、「間伐材の販売を目的とした間伐を実施したい」が22.8%となっており、8割が間伐を実施したいと考えています。

一方、「間伐を実施する考えはない」は21.8%となっています。

図7-1 間伐の実施に関する意向（九州）
【間伐期にある保有山林】



イ これを保有山林面積規模別にみると、間伐を実施したいと考えている林業者は、「3～5ha」が78.3%となっているのに比べ、「10～20ha」では88.6%となっており、規模が大きくなるほどその割合が高くなる傾向があります。

図7-2 保有山林面積規模別割合（九州）

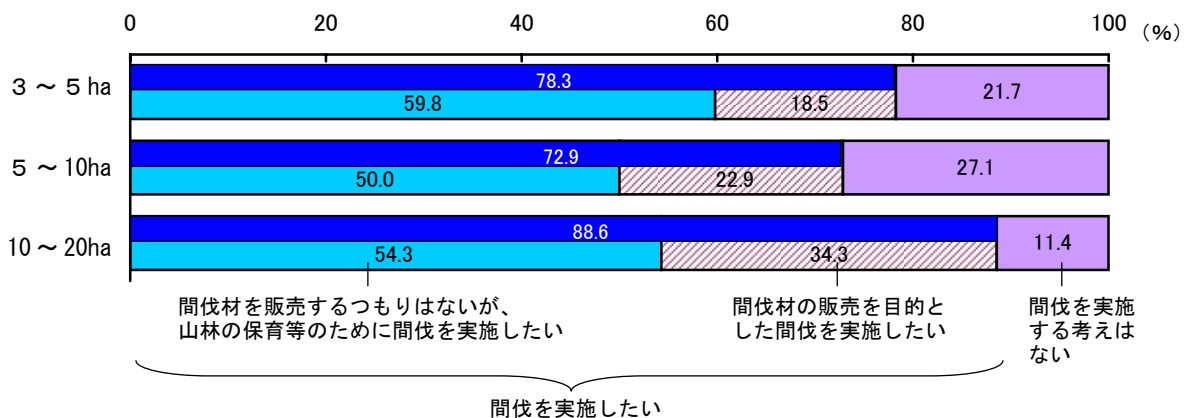


表3 間伐の実施に関する意向

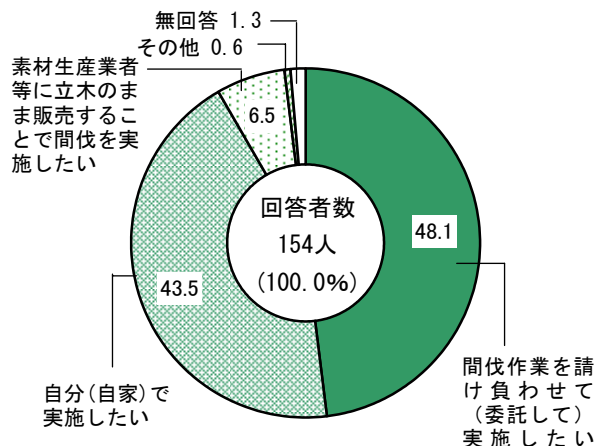
区 分	回答者数	計	間伐期にある保有山林がある	間伐を実施したい				間伐を実施する必要はない（間伐期にある山林はない）	無回答
				小計	間伐材の販売を目的とした間伐を実施したい	間伐材を販売するつもりはないが、山林の保育等のために間伐を実施したい	間伐を実施する考えはない		
九州	215	100.0	91.6	(78.2)	(22.8)	(55.3)	(21.8)	7.9	0.5
保有山林面積規模別									
3～5ha	101	100.0	91.1	(78.3)	(18.5)	(59.8)	(21.7)	8.9	-
5～10ha	75	100.0	93.3	(72.9)	(22.9)	(50.0)	(27.1)	5.3	1.3
10～20ha	39	100.0	89.7	(88.6)	(34.3)	(54.3)	(11.4)	10.3	-
全国	1 839	100.0	87.7	(74.1)	(14.8)	(59.3)	(25.9)	12.0	0.3

注：（ ）書きの値は、「間伐期にある山林を保有している」を100とした場合の割合です。

(2) 間伐の実施方法

ア 間伐を実施したいと回答した林業者の間伐の実施方法に関する意向は、「間伐作業を請け負わせて(委託して)実施したい」が48.1%と最も高く、次いで「自分(自家)で実施したい」が43.5%、「素材生産業者等に立木のまま販売することで間伐を実施したい」が6.5%などとなっています。

図8-1 間伐の実施方法に関する意向(九州)



イ これを保有山林面積規模別にみると、間伐を自分(自家)で実施したいと考えている林業者は、規模が大きくなるほど高い割合となっており、「10~20ha」では48.4%と半数近くを占め、請け負わせて実施したい割合を上回っています。

図8-2 保有山林面積規模別割合(九州)

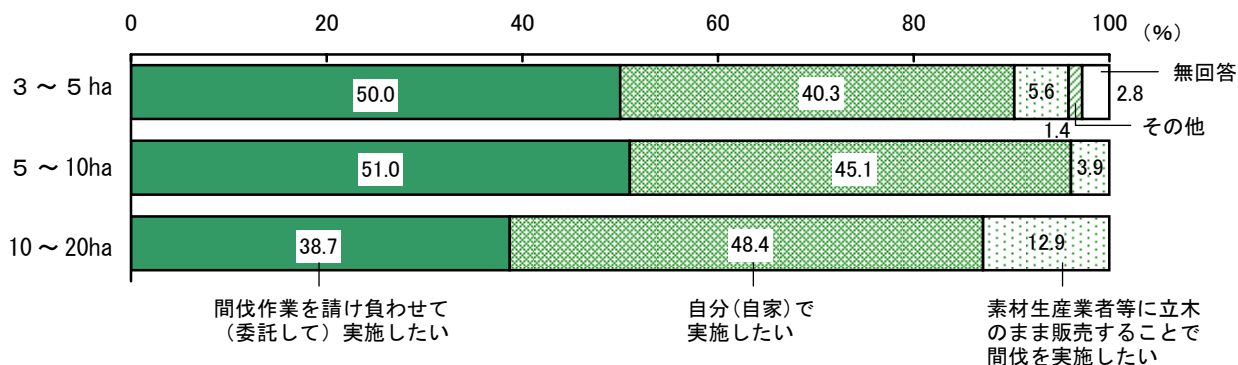


表4 間伐の実施方法に関する意向

区分	回答者数	計	意向 (%)				
			自分(自家)で実施したい	間伐作業を請け負わせて(委託して)実施したい	素材生産業者等に立木のまま販売することで間伐を実施したい	その他	無回答
九州	154	100.0	43.5	48.1	6.5	0.6	1.3
保有山林面積規模別							
3 ~ 5 ha	72	100.0	40.3	50.0	5.6	1.4	2.8
5 ~ 10 ha	51	100.0	45.1	51.0	3.9	-	-
10 ~ 20 ha	31	100.0	48.4	38.7	12.9	-	-
全国	1 195	100.0	45.2	43.3	9.8	1.1	0.6

注：間伐を実施したいと回答した林業者に対する割合です。

(3) 間伐を実施する考えのない理由

間伐を実施する考えのない理由(複数回答)は、「実施しても採算が合わないと考える」が81.4%と最も高く、次いで「労働力が得られないと考える」が44.2%などとなっています。

図9 間伐を実施する考えのない理由(複数回答)(九州)

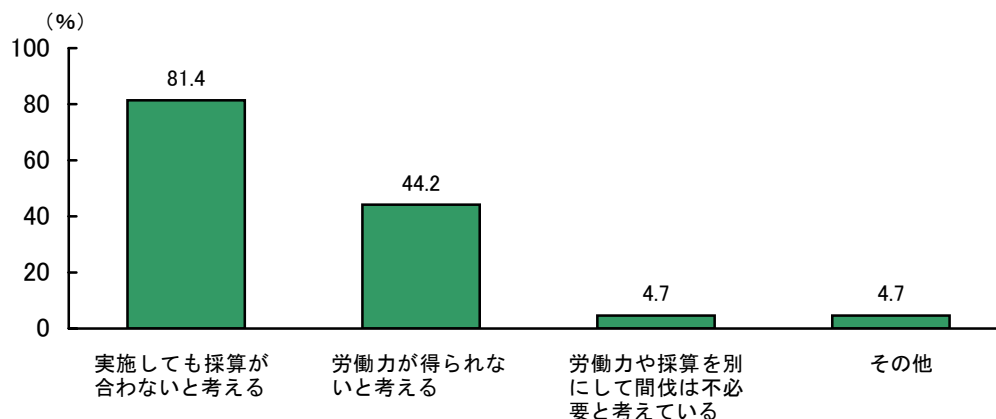


表5 間伐を実施する考えのない理由(複数回答)

区分	回答者数	計	理由				無回答
			労働力が得られないと考えるため	実施しても採算が合わないと考えるため	労働力や採算を別にして間伐は不要と考えているため	その他	
九州	43	100.0	44.2	81.4	4.7	4.7	-
保有山林面積規模別							
3 ~ 5 ha	20	100.0	55.0	70.0	10.0	10.0	-
5 ~ 10 ha	19	100.0	36.8	89.5	-	-	-
10 ~ 20 ha	4	100.0	25.0	100.0	-	-	-
全国	418	100.0	42.8	80.6	11.0	9.6	1.7

注: 「間伐を実施する考えはない」と回答した林業者に対する割合です。

4 主伐作業に関する意向

(1) 主伐の実施(伐期にある保有山林)

ア 伐期にある山林を保有している林業者の今後5年間における主伐の実施に関する意向は、「主伐を実施する考えはない」が60.7%と最も高くなっています。

一方、主伐を実施したいとする林業者は39.3%で、このうち「自分(自家)で実施したい」は11.0%となっています。

図10 主伐の実施に関する意向(九州)【伐期にある保有山林】

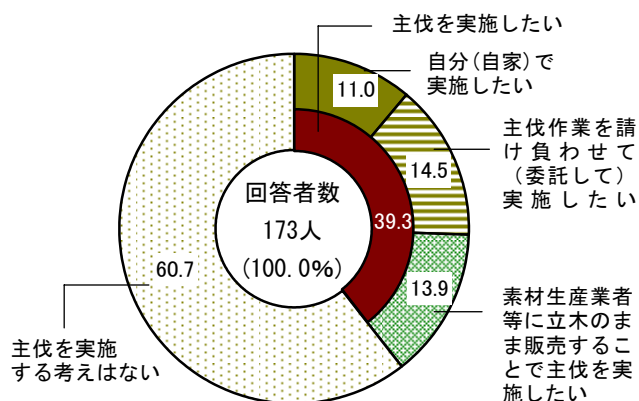


表6 主伐の実施に関する意向

単位：％

区 分	回答者数	計	伐期にある保有山林がある	主伐を実施したい					主伐を実施する考えはない	主伐を実施する必要はない (伐期にある山林はない)	無 回 答
				小計	自分（自家）で実施したい	主伐作業を請け負わせて（委託して）実施したい	素材生産業者等に立木のままでの販売を主伐を実施したい	主伐を実施する考えはない			
九州	215	100.0	80.5	(39.3)	(11.0)	(14.5)	(13.9)	(60.7)	19.1	0.5	
保有山林面積規模別											
3 ～ 5 ha	101	100.0	76.2	(40.3)	(10.4)	(16.9)	(13.0)	(59.7)	22.8	1.0	
5 ～ 10 ha	75	100.0	80.0	(45.0)	(13.3)	(16.7)	(15.0)	(55.0)	20.0	-	
10 ～ 20 ha	39	100.0	92.3	(27.8)	(8.3)	(5.6)	(13.9)	(72.2)	7.7	-	
全 国	1 839	100.0	74.6	(37.1)	(11.1)	(12.7)	(13.3)	(62.9)	24.5	0.9	

注：（ ）書きの値は、「伐期にある山林を保有している」を100とした場合の割合です。

イ 主伐を実施する考えのない理由(複数回答)は、「実施しても採算が合わないと考える」が72.4%と最も高く、次いで「将来、臨時的な収入が必要となった時に主伐をしようと考えている」が38.1%、「労働力が得られないと考える」が23.8%などとなっています。

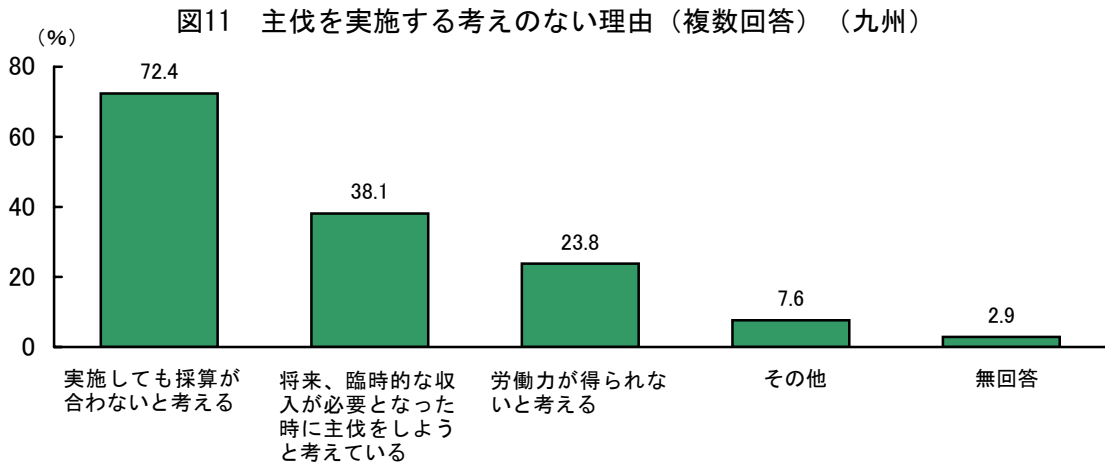


表7 主伐を実施する考えのない理由（複数回答）

単位：％

区 分	回答者数	計	労働力が得られないと考えるため	実施しても採算が合わない と考えるため	将来、臨時的な収入が必要 となった時に主伐をしよう と考えているため	そ の 他	無 回 答
九州	105	100.0	23.8	72.4	38.1	7.6	2.9
保有山林面積規模別							
3 ～ 5 ha	46	100.0	26.1	80.4	26.1	13.0	-
5 ～ 10 ha	33	100.0	27.3	63.6	45.5	3.0	9.1
10 ～ 20 ha	26	100.0	15.4	69.2	50.0	3.8	-
全 国	863	100.0	27.9	73.9	42.2	7.2	2.2

注：「主伐を実施する考えはない」と回答した林業者に対する割合です。

(2) 伐採後の植林の実施

ア 伐期にある山林を保有しており、主伐を実施したいと回答した林業者の7割が伐採後に植林を実施したいと考えています。

このうち、「自分(自家)で実施したい」が27.9%、「主伐と植栽を同じ業者に請け負わせて(委託して)実施したい」が22.1%、「主伐とは別の業者に請け負わせて(委託して)実施したい」が16.2%となっています。

図12 木材等林産物のに関する意向（九州）

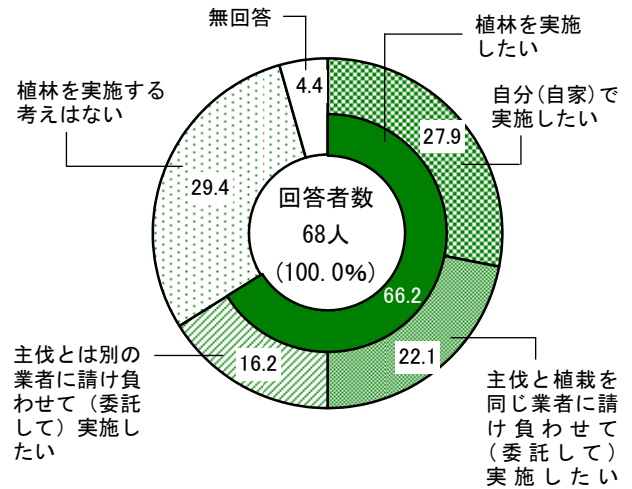


表8 伐採後の植林の実施に関する意向

区 分	回答者数	計	植林を実施したい				植林を実施する考えはない	無 回 答
			小計	自分(自家)で実施したい	主伐とは別の業者に請け負わせて(委託して)実施したい	主伐と植栽を同じ業者に請け負わせて(委託して)実施したい		
九 州	68	100.0	66.2	27.9	22.1	16.2	29.4	4.4
保有山林面積規模別								
3 ~ 5 ha	31	100.0	77.4	32.3	22.6	22.6	19.4	3.2
5 ~ 10 ha	27	100.0	51.9	18.5	22.2	11.1	40.7	7.4
10 ~ 20 ha	10	100.0	70.0	40.0	20.0	10.0	30.0	-
全 国	509	100.0	72.5	32.2	18.5	21.8	25.1	2.4

注：主伐を実施したいと回答した林業者に対する割合です。

イ 伐採後に植林を実施する考えのない理由(複数回答)は、「実施しても採算が合わない」と考える」が75.0%と最も高く、次いで「実施する資金がない」と考える」が40.0%、「労働力が得られない」と考える」が20.0%などとなっています。

図13 伐採後に植林を実施する考えのない理由（複数回答）（九州）

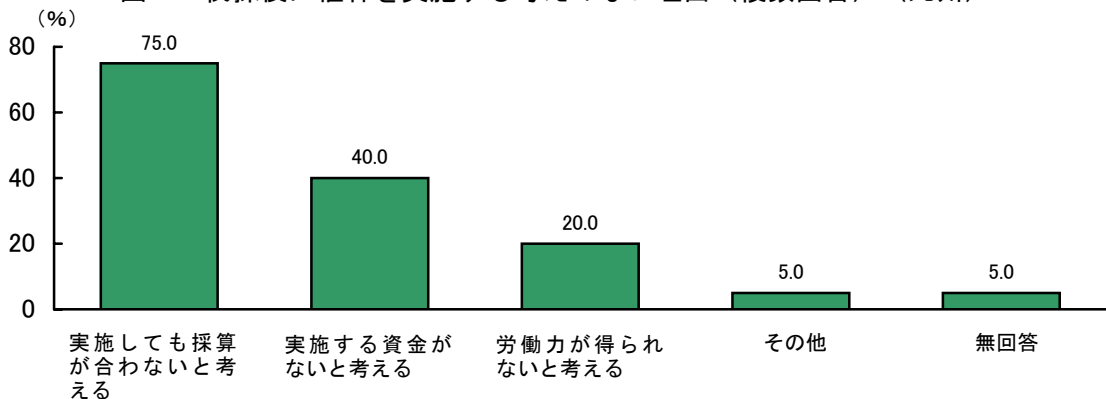


表9 伐採後の植林を実施する考えのない理由（複数回答）

単位：％

区分	回答者数	計	労働力が得られないと考えるため	実施する資金がないと考えるため	実施しても採算が合わないと思われるため	その他	無回答
九州	20	100.0	20.0	40.0	75.0	5.0	5.0
全国	128	100.0	36.7	31.3	81.3	11.7	1.6

注：「植林を実施する考えはない」と回答した林業者に対する割合である。

5 森林組合に期待する役割

森林組合に期待する役割(複数回答)は、「造林・保育等の作業の委託先」が47.9%と最も高く、次いで「林産物の販売先(販売先の仲介を含む)」が33.5%、「林業経営や林業技術などの指導」が29.3%、「林業経営の委託先」が25.6%などとなっています。

図14 森林組合に期待する役割（複数回答）（九州）

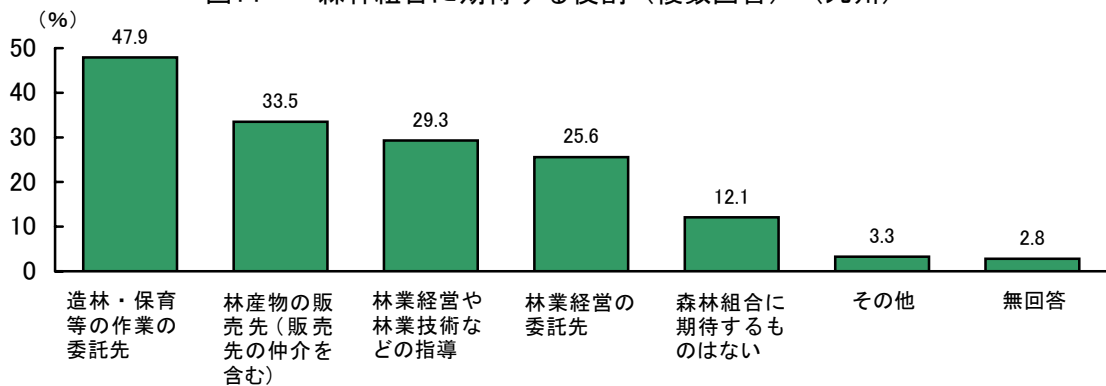


表10 森林組合に期待する役割（複数回答）

単位：％

区分	回答者数	計	造林・保育等の作業の委託先	林業経営の委託先	林業経営や林業技術などの指導	林産物の販売先(販売先の仲介を含む)	森林組合に期待するものはない	その他	無回答
九州	215	100.0	47.9	25.6	29.3	33.5	12.1	3.3	2.8
全国	1 839	100.0	46.9	21.3	30.2	35.1	15.0	3.2	2.7

6 保有山林の規模に関する意向

今後の保有山林の規模に関する意向は、「現状の保有林の規模を維持したい」が82.3%と最も高くなっています。

なお、「保有山林の規模を拡大したい」は1.9%、「保有山林の規模を縮小したい」は7.9%、「保有山林をすべて手放したい」が6.0%となっています。

図15 保有山林の規模に関する意向（九州）

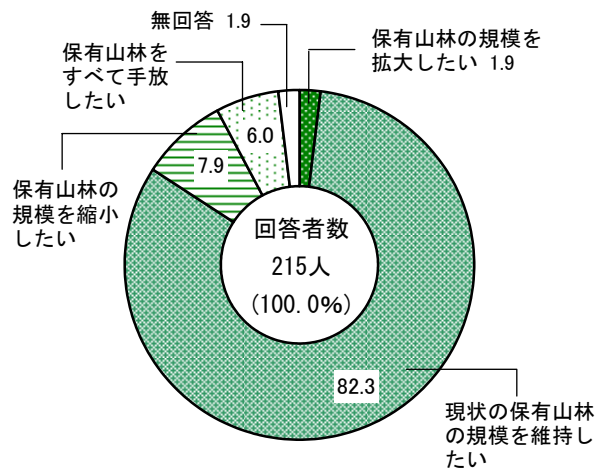


表11 保有山林の規模に関する意向

単位：％

区 分	回 答 者 数	計	保有山林を保持したい			保有山林をすべて手放したい	無 回 答
			保有山林の規模を拡大したい	現状の保有山林の規模を維持したい	保有山林の規模を縮小したい		
九 州	215	100.0	1.9	82.3	7.9	6.0	1.9
保有山林面積規模別							
3 ～ 5 ha	101	100.0	1.0	82.2	6.9	8.9	1.0
5 ～ 10 ha	75	100.0	2.7	81.3	8.0	4.0	4.0
10 ～ 20 ha	39	100.0	2.6	84.6	10.3	2.6	-
全 国	1 839	100.0	3.8	80.1	7.8	6.7	1.6

7 保有山林の経営方法に関する意向
(保有山林を保持したいと回答した林業者)

(1) 保有山林を保持したいと回答した林業者の長期的（5年以上）な作業や経営の委託に関する意向は、「長期的に作業や経営をまかせたい(委託したい)と考えている」が31.8%となっています。

また、保有山林面積規模別にみると、委託したいと考えている割合は規模が小さいほど高くなっています。

図16-1 長期的（5年以上）に作業や経営の委託に関する意向（九州）

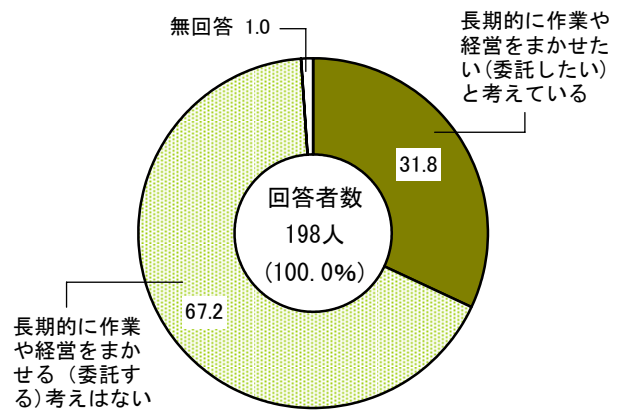


図16-2 保有山林面積規模別割合（九州）

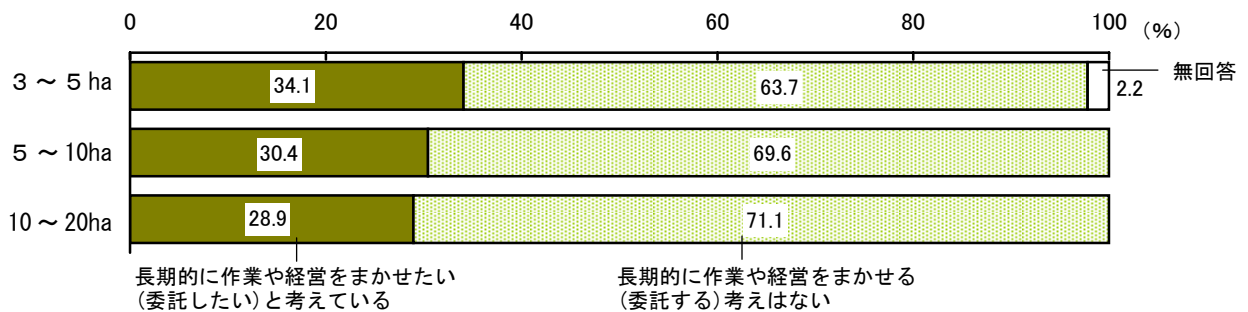


表12 長期的（5年以上）な作業や経営の委託に関する意向

単位：％

区 分	回 答 者 数	計	長期的に作業や経営をまかせたい(委託したい)と考えている	長期的に作業や経営をまかせる(委託する)考えはない	無 回 答
九 州	198	100.0	31.8	67.2	1.0
保有山林面積規模別					
3 ～ 5 ha	91	100.0	34.1	63.7	2.2
5 ～ 10 ha	69	100.0	30.4	69.6	-
10 ～ 20 ha	38	100.0	28.9	71.1	-
全 国	1 685	100.0	27.2	71.1	1.7

注：保有山林を保持したいと回答した林業者に対する割合です。

(2) 長期的（5年以上）に作業や経営を他者にまかせる（委託する）場合に重視したい内容（複数回答）は、「保育・主伐等の時期・方法等を適切に判断し、作業を実行してくれる」が57.1%と最も高く、次いで「保育・主伐等を行う際は、山林所有者の判断に従って実施してくれる」が49.2%などとなっています。

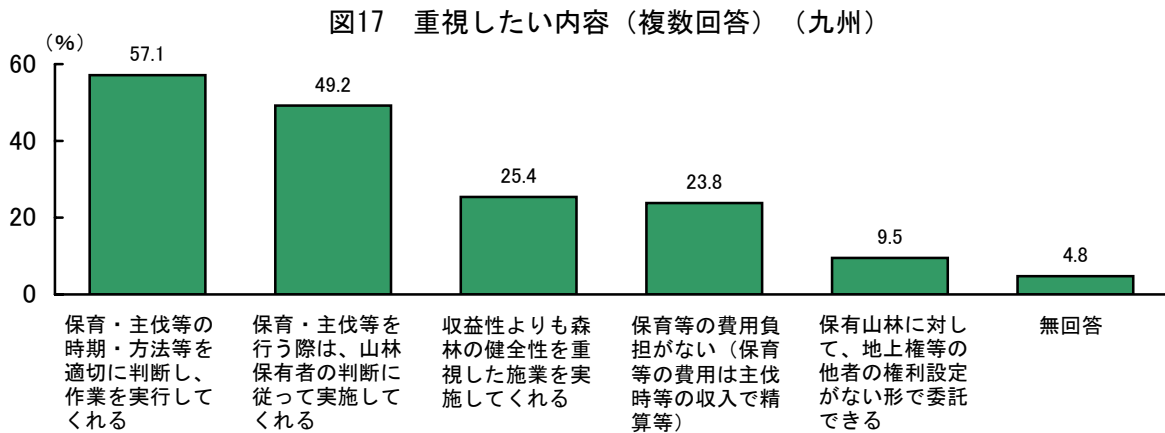


表13 長期的（5年以上）に作業や経営を委託する場合に重視したいこと（複数回答）

単位：%

区分	回答者数	計	保育・主伐等の時期・方法等を適切に判断し、作業を実行してくれる	保育・主伐等を行う際は、山林所有者の判断に従って実施してくれる	保育等の費用負担がない（保育等の費用は主伐時等の収入で精算等）	収益性よりも森林の健全性を重視した施策を実施してくれる	保有山林に対して、地上権等の他者の権利設定がない形で委託できる	その他	無回答
九州	63	100.0	57.1	49.2	23.8	25.4	9.5	-	4.8
全国	459	100.0	56.9	40.1	35.3	22.9	15.7	0.7	2.4

注：「長期的に作業や経営をまかせたい（委託したい）と考えている」と回答した林業者に対する割合です。

(3) 長期的（5年以上）に作業や経営を他者にまかせる（委託する）場合に委託したい相手（複数回答）は、「森林組合」が90.5%と特に高い割合となっています。

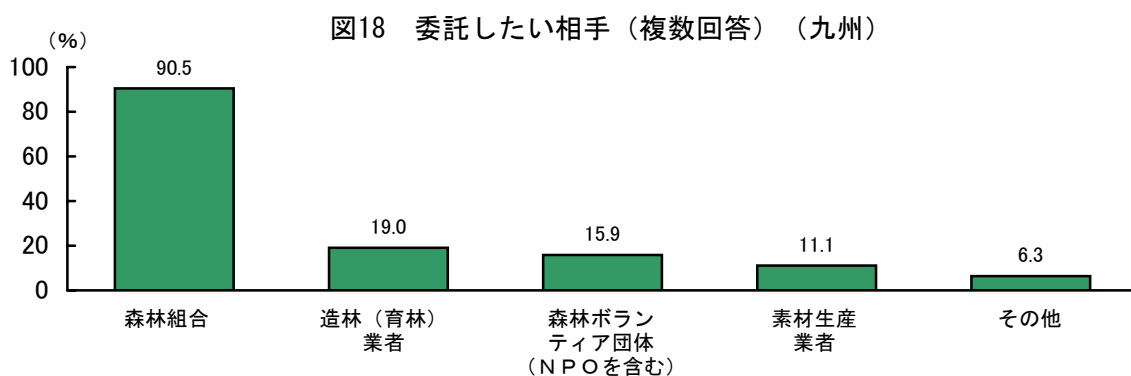


表14 長期的（5年以上）に作業や経営を委託する場合に委託したい相手（複数回答）

単位：%

区分	回答者数	計	森林組合	造林（育林）業者	素材生産業者	他の林家	森林ボランティア団体（NPOを含む）	その他	無回答
九州	63	100.0	90.5	19.0	6.3	-	15.9	11.1	-
全国	459	100.0	91.5	28.3	8.1	2.6	19.4	4.1	0.4

注：「長期的に作業や経営をまかせたい（委託したい）と考えている」と回答した林業者に対する割合です。

【利用上の注意】

1 調査の内容

本調査は、森林整備の推進や林業経営の育成方策等の検討資料とするため、小規模な山林を保有している林家が保有山林の作業や林業経営について、どのように考えているのかを把握したものです。

2 調査対象

2000年世界農林業センサス林家調査における保有山林面積が3ha以上20ha未満で、かつ人工林を保有している林家の代表者を対象としました。

3 標本抽出等

調査対象となるリストから、系統抽出法により全国で3,000世帯（九州で366世帯）を抽出しました。

4 実施時期

平成16年7月上旬～中旬

5 調査方法

地方農政局、地方農政局取りまとめ統計・情報センター、北海道統計・情報事務所及び北海道取りまとめ統計・情報センターからの郵送調査により行いました。

6 調査票の回収率等

区分	配付者数（人）	回答者数（人）	回収率（%）
全 国	3,000	1,839	61.3
九州・沖縄	366	215	58.7

7 用語の説明等

- (1) 保有山林とは、世帯が単独で経営できる山林のことであり、所有山林のうち他に貸し付けている山林などを除いたものに他から借りている山林などを加えたものをいいます。
- (2) 保育作業とは、幼齢林を目的の森林に育てるために行う下刈り、除伐、つる切り、枝打ち、雪起こし、間伐などの手入れ作業の総称です。
- (3) 間伐とは、除伐後に行う作業で森林を健全に成長させるため、劣勢木、不要木など森林の一部を伐採（抜き切り）することをいいます。
- (4) 主伐とは、一定の林齢に生育した立木を、用材等で販売するために行う伐採をいいます。
- (5) 植林とは、山林とするために、伐採跡地や山林でなかった土地へ苗木を植えたり、種子をまいたり、さし木したりする作業をいいます。

- (6) 統計表の各回答率は、各設問（各区分）の有効回答者数計を 100.0とする割合です。

なお、標本誤差は回答者数と回答率によって異なっており、回答者数別の標本誤差の範囲（95%は信頼できる誤差の範囲）は、おおむね次のとおりであり、利用に当たっては注意してください。

標本誤差の範囲とは、例えば、ある選択肢の回答率が50%の場合、200戸を取りまとめた結果では、同調査（200戸を取りまとめ）を100回行ううちの95回は、43.1%～56.9%（50%の上下6.9%）の範囲の中に収まるというものです。

回答率 回答者数	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
200	± 4.2	± 5.5	± 6.4	± 6.8	± 6.9
150	± 4.8	± 6.4	± 7.3	± 7.8	± 8.0
100	± 5.9	± 7.8	± 9.0	± 9.6	± 9.8
70	± 7.0	± 9.4	±10.7	±11.5	±11.7
50	± 8.3	±11.1	±12.7	±13.6	±13.9
30	±10.7	±14.3	±16.4	±17.5	±17.9
10	±18.6	±24.8	±28.4	±30.4	±31.0

注：標本誤差の範囲は、 $\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{回答率} \times (1 - \text{回答率})}{\text{回答者数}}}$ により求めました。

- (7) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない場合があります。
- (8) 統計表に使用した記号「-」は、事実のないことを表します。
- (9) 統計表の数値の中には、回答者数の少ないものもあるので、利用に当たっては、十分注意してください。

掲載内容に関するお問い合わせ先
九州農政局総務部 情報推進課 地域業務推進第2係
電 話（代表）096-353-3561 内線4034
（直通）096-353-7504

この資料は、九州農政局ホームページ【<http://www.kyushu.maff.go.jp/>】の「農林水産情報」－「意識・意向に関する情報」でご覧いただけます。

なお、全国調査結果については、農林水産省ホームページ【<http://www.maff.go.jp/>】の「施策の動き・情報」≫「食と農林水産業の地域情報・意向調査」をご覧ください。